

# ベタニヤホームだより



社会福祉法人 ベタニヤホーム  
 〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1  
 電話 03 (3631) 0 4 4 4  
 FAX 03 (6659) 6 6 7 2  
 発行責任者 網 春 子

2020年秋号 第135号

## 創立97周年記念礼拝をリモートで開催

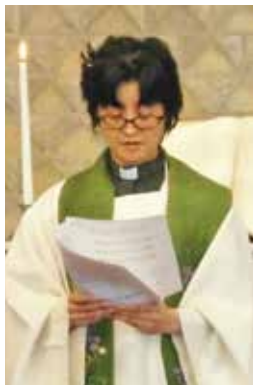
去る令和2年9月18日(金)、法人の創立97周年を記念する礼拝を執り行いました。今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、本年3月に予定していた東京大空襲犠牲者追悼礼拝、同4月に予定していたイースター礼拝いずれも中止を余儀なくされたところでございますが、礼拝会場の日本福音ルーテル聖パウロ教会と法人の4つの施設を結んで、リモートによる礼拝の開催をはじめて試みた形です。

当日は、役員等の関係者をお呼びできず、各施設の昼礼のわずかな時間を活用し、縮小し短時間で執り行ったため、各施設で参加できた職員も限られてしまいました。法人としてとても大切な日を迎えることができましたことに感謝いたします。

ささやかですが、今号のベタニヤホームだよりで創立記念礼拝の模様をお届けしたいと思えます。

## 「み言葉はゆるがぬ土台」

日本福音ルーテル聖パウロ教会  
 牧師 小勝 奈保子  
 (ベタニヤホーム評議員)



ベタニヤホームが、新しい建物へ、住心地の良いホームへと変わりました。去る6月8日に、定礎式が行われました。定礎版の中に、プログラムの表紙にあります、ベタニヤホームの聖句、み言葉が収められました。

人がその友のために、自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。

土台に、み言葉の要石を据えたのであります。キリストの教会や施設は、このように、み言葉の上に、建物を立ち上げます。

この出来事は、教会で言えば、父の家、祈りの家に、霊を吹き込んで、命を宿したことになりま。施設もそれと同様に、命の息を吹き込み、愛のみ手として、神自らが働いて、一人一人の手を通して、愛の業を成していく、共に喜びと、笑顔が溢れ、命を育んでいく、そのような家、ホームの基礎に、はじめに、み言葉を堅く据えます。



はじめに言があった。言は神と共にあった。言は神であった(ヨハネ1:1)。

神の創造のみ業です。定礎式はその出来事です。ここには、列席された方もおられるでしょう。私たちは、共に、神のみ手がそれを成したという出来事、歴史の証人とされたのであり、それを見届けたのであります。不思議なものです。コロナ禍にあって、ベタニヤホームが新しく建つという経験をしています。振り返ると、なぜ、この時期になったのかと思われないではありません。感染症の災禍は、時代の困難と同時に、変革をもたらす試練として受け取ってよいでしょう。

聖なる神は、時代の困難であるにも関わらず、時代の困難であるがゆえに、要石を再び据えられ、必要な人を、一人一人呼び集めてくださいました。それはベタニヤホームを、新たに目覚めさせ、時代の叫びに応じて、立ち上がり、これからの福祉の姿を、世にあらわし示すため、そして、使命へと送り出すためでありました。

さて、その中で私たちは、今日、改めて土台となる、要石に注目したいのです。24節、

「わたしのこれらの言葉の聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている」(24)。

家と土台の話に、よく似た物語がありますね。三匹の子豚です。

ワラで作った家、木で作った家、そして、時間をかけ、レンガで積み上げた頑丈な家。狼が来て、家に襲い掛かると、ワラの家は吹き飛ばされてしまいます。木も同様に、壊されてしまいます。二匹の子豚はレンガの家へ逃げ込みました。狼は、煙突から侵入を試みて、煮えたぎる鍋の中へ真つ逆さま。大やけどを負ってしまいます。

ワラと木とレンガは、家の素材となるもので、簡単にワラで作った家と、丁寧に時間をかけ、努力と忍耐で積み上げ、築いたものとの違い、教訓や示唆となる物語です。聖書の話も、それと似てはいますが、しかし、明確に異なる点があります。

それは、注目すべきところが、家の素材ではなくて、家を支える地盤だ、ということ。地盤が砂の上か、岩の上か。そして、地盤とは何かと言え、岩なるキリスト、み言葉だということです。

「草は枯れ、花はしぼむが、わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ」。(イザヤ40:8)

私たちが今経験している災禍は、個人や人間の力を越えるものです。心には、なぜ、という問いが生まれますが、誰の責任でもありません。過ぎ去るまで耐え忍ぶしかないのです。

いろいろな問題が生じます。人為的な二次被害ともなれば、責任が問われることもあります。しかし、いくら責任を追及しても、それで、問題がなくなるわけではありません。

その先にあるものに向かわなければならぬのです。解決は、互いに、支え合い、救い合い、補い、助け合う、そでなければ、乗り越えて、命を得ることはできません。互いに責め合うばかりでは、乗り越える前に滅んでしまいます。そうなるならならぬ。批判を受けても、叩かれても、そこで挫けてはならない、そのためには、土台を



すっかりと持つ必要がありません。  
 「雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである」(25)。

すべてを失った後で、それでも後に残るもの、後に残るものは何か。それは、一人一人の命を慈しむ、神の愛の眼差し、そして、み言葉であります。私たちの命は、主の愛の息吹によって、支えられています。

実際に、ベタニヤホームが経験した二つの災禍は、火災でした。焼け野原から始まり、戦火でも焼失しています。初めにあったものは、み言葉、キリストの岩でした。岩なるキリストを見て、人々は立ち上がったのであります。

皆さんは、保育や福祉の専門職として、子どもたちや人々と関わっています。日々、研鑽を積み、必死に努力しておられるでしょう。菊川保育園の風礼に出来ますと一生懸命さが伝わってまいります。

よく支え合って、気持ちもくすおれずに、日々の働きに全力を尽くしておられます。しかし、人間の努力には限界もあります。高い塔を建てれば建てるほど、その土台となる地盤が大切で、私たちは、力がなく、弱く、頼りない、道を間違えることも、反抗してされることも、数々の過ちを犯します。

けれども、私たちは、はかなく、罪深い存在であっても、私たちが支える土台は、頑丈であり、正しく、岩であり、よみがえりの命であるキリストです。

土台さえ、知っているのなら、大丈夫、躓いても、転んでも大丈夫です。また、新たに、み言葉に聴き、立ち上げればよいのです。

ベタニヤホームの土台は、誰か、キリスト。イエスは、憐れみ深い神の子であることをしっかりと見つけたいきましょう。



### 創立97周年記念礼拝 特別の祈り

司式・小勝奈保子(牧師) 全能の神さま

ここに、創立記念礼拝を共に守ることができ心から感謝いたします。世界規模の感染症によって、人々が集まることに困難が生じています。場所は違えども、一つとなり、心から祈る祈りを、どうか、聞き届けてください。

会衆) 主よ、聞いてください。

法人本部) 生きとし生けるもの命をお造りになる神さま

あなたは、震災後の苦しみと困難の中から、このベタニヤホームを希望の光として立ち上げられました。先達者たちの血と汗によって、97年間、寄り添わない人々の生活を支え、また、幼子の成長を見守り、人々の心と暮らしを明るく照らし、豊かな望みをお与えくださいました。この灯りを、どうか、これからも灯し続けることができますように、ベタニヤホームに集う者、働く者の上に聖霊の火を注いでください。

会衆) 主よ、聞いてください。

母子生活支援施設) 命を尊ぶ神さま

ベタニヤホームは時代と共に、その姿を変えてきました。私たちは歴史の記念として、毎年3月に東京大空襲を覚えていきます。尊い命の犠牲によって、戦火のない時代がもたらされました。これを後代へと伝え、武器や暴力ではなく、対話と協力による解決へ、その道を見出すことができますように。平和を実現することができますように。

会衆) 主よ、聞いてください。

母子生活支援施設) 命を慈しむ神さま

ベタニヤホームの新築工事を無事に終えましたこと感谢您いたします。新しい住居で気持ちのよい生活が送れるようになりました。暮らしの安心から、心に解放が起こり、成長と自立へ、勇気と決断へ、時が満ち、それへと導かれますように。入居するお一人お一人に、喜びと望み生きる力が与えられますように。

会衆) 主よ、聞いてください。

菊川保育園) 命を養われる神さま

新型コロナウイルスの困難のただ中であって、主よ、どうか、私たちの命と働きをお守りください。保育園には

多くの子どもたちが、それぞれの家庭から通って来ています。どうか、皆の健康を支えてください。何か問題が生じた時には、適切に対処することができますように知恵をお授けください。仲間と共に力を合わせて、この難局を乗り越えていくことができますように導いてください。疲れを感じる時には、あなたのみ翼の陰でしばし休息をとり、新しい命の息吹をお与えください。

会衆) 主よ、聞いてください。

富士見保育園) 命を育む神さま

あなたの愛によって、幼子、子どもたちを豊かに養ってください。その心のみ言葉の種が蒔かれ、望み生きる力、勇気と信頼を得、子どもたちが自らの人生を力強く歩むことができますように、その道を照らして生涯をお守りください。人生の土台となる大切な時期を保育者として関わっています。どうか、保育者たちを豊かに祝福してください。深い愛と祈りを持って、日々、子どもたちと接することができますように、その働きを助けて、あなたの霊と知恵、豊かな愛をお授けください。

会衆) 主よ、聞いてください。

こひつじ保育園) 命を喜び愛おしむ神さま

地域の人々との交流を豊かに祝福してください。保育園とベタニヤホームの働きは、ボランティアや町内会、多くの人々の愛の手を支えられています。3年後には、100周年を迎えます。神さまへの喜びと感謝を伝える機会として、今から備えて、多くの人々を招く準備を整えていくことができますように。100周年の祝いの日が、心を新たに、新しい時代の使命への出発となるよう、どうか、み心を示し、み霊によって導いてください。

会衆) 主よ、私たちが豊かに祝福してください。

司式) 父なる神よ。

どうか、あなたのみ旨に邁る働きの中に、私たちが召し出してください。み言葉によって養われ、心も体もあなたに守られ、その働きがあなたと隣人に仕えるものとなり、日ごとに喜びと感謝の実りを結ぶことができますよう、み心にとめ、助け導いてください。私たちの主イエス・キリストによって祈ります。

会衆) アーメン





6F母子室、居室



2F事務室



1F地域交流ホールキッチンコーナー

## 竣工した「母子生活支援施設 ベタニヤホーム」をご紹介します

母子生活支援施設ベタニヤホーム施設長 伊丹 桂

今年6月から新たな建物となった母子生活支援施設ベタニヤホームは、建替えを進めるにあたり、大きな3つの軸を設定していました。1つめはベタニヤホームの出自である災害被災者の受け入れを再確認することです。大正12年9月の関東大震災の災禍はこの墨田区のエリアでは甚大なものでした。当時は女性が職業を持たないことが一般的であった中、一家の大黒柱を失い途方に暮れた母子家庭を受け入れたこのベタニヤホームの先達の想いを、改めて再確認すべき「災害」の時代になっていると思います。

2つめはもっと多くの方々に母子生活支援施設を知ってもらおうことです。今、多くの母子生活支援施設が利用世帯の減

少にさらされています。子どもの貧困や母子家庭の貧困が知られるようになった時代にあつて、なぜ利用する方々が減少していくのか、定かな答えはありません。分析は必要ですが、私たちは実践者です。相談に来る人がいないのならば、我々から手を差し伸べるために外へ行くしかないのです。

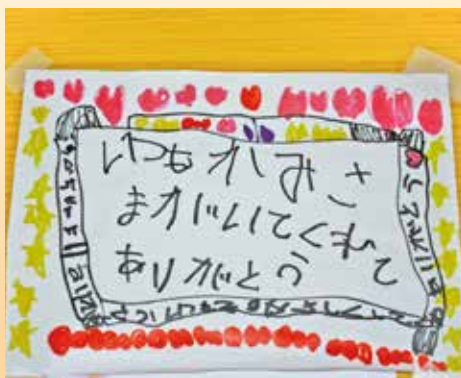
3つめはこれまで述べてきたような大きな時代の変化の中で、私たち社会的養護の施設が明確に何をすべきなのか国から示されていることを着実に進めていくということです。施設の小規模化、地域の子育て支援拠点化が求められる今、母子生活支援施設は母子家庭への支援のみならず、地域への支援を施設単体で行うのではなく、組織を越えて手を組む相手を探しながら展開することが求められています。

この3つの軸を設計に反映させたのが現在の建物です。地震災害の対応としてマンホールトイレを設置し、1階のホールのガスはプロパンとしました。これは熊本地震で被害にあった慈愛園と広安愛児園を訪問した際の学びがヒントになっています。また海抜0m地帯であるこのエリアでは水害対策も必要です。事務所を2階に配置し水害にも対応できる機能を持たせました。

一方、1階には大きなホールを配置して、NPOとの協働で母子家庭への食品配布を行います。また、このホールは様々な団体の利用を前提にしていますが、社会的養護の方向性でもある里親の開拓を行政とともに進めていくためのイベントや直接の支援を予定しています。

また、母子室も含めた様々な場所にパーテーションを採用し、広くも狭くも使うことができるようにしたものも、今後の事業展開を社会の変化に合わせていくための機能の一部です。今後も皆様のご支援、ご理解を賜られるよう職員一同、努力して参ります。

### 可愛いエピソード



年長クラスのお友だちが、手紙を書いていたので、「誰にお手紙を書いているの」と聞いてみると、「神様に書いている」と教えてくれた。

手紙の内容は「いつもかみさまがいてくれてありがとう」

何度も書き直す姿もあり、神様にむけて、愛情たっぷりのお手紙となっていました😊。

こひつじ保育園

# 母子生活支援施設ベタニヤホーム

## ●宿泊訓練●

毎年行っている「学童サマーキャンプ」はコロナ禍により、子どもと職員の一対一で「宿泊訓練（1泊2日）」に変更して、施設内で実施しました。食事のメニューや活動内容を子どもと決め、夜は施設のお風呂で一緒に入浴した後、屋上にいる子どもから集居室にいるお母さんへ、オンラインで1日の報告を行いました。その後、屋上にテントを2つ張り、家ではいつもお母さんと寝ている子がテント内でひとり、「寂しい」と泣く子もいれば、「夜中に星を見る」と張りきるもののそのまま朝方まで起きることなくぐっすり寝ていた子など様々でした。将来、新型コロナウイルスのことを思い出した時、この宿泊訓練のことを思い出し「夜、起きることができなかった」「あの時、初めてのこぎりを使った」など、笑いながらお話しすることができたらしいなと思います。

## ●災害用マンホールトイレ●

地震などで建物のトイレが使えなくなった事を想定し、ベタニヤホームには災害用マンホールトイレがあります。夜、職員が1人しかいない時などは利用者の協力が必要となるので、一緒に組立て訓練をしました。



「災害用マンホールトイレ」



「テント張り」

# 菊川保育園

## ●ふわふわ、もちもち色んな感触●

長く続いた梅雨に、猛暑日に、なかなか戸外に出られなかったり、密なあそびを避けなくてはいけなかったりと例年通りの活動とはいかなかった今年の夏。室内では子どもの興味や好奇心を引き出せるように、たくさんの仕掛けを作って遊びました。

特に子ども達が気に入っていたのは、水・洗濯糊・小麦粉粘土・お米等を入れたジップロックを床に貼った感触あそび。洗濯糊の中の魚型の醤油さしを袋の外側から一生懸命つまもつしたり、お米の袋で山を作って車を走らせたりと、足で踏んで、手で触って様々な感触を体験しています。

中でも一番人気は、水を入れたウォーターベッド。足で踏むとぽよんぽよんと跳ね返る水の不思議な感触が楽しくて、頬をつけて横になると、「つめた〜い」の感覚が面白くて、保育者を振り返っては、「気持ちいいね」のにつっこり笑顔を見せてくれる子ども達です。ペタペタ触った後は、しっかりと消毒をして、何度も繰り返し楽しんでいます。



「なんだか不思議な感触」



「つめたくなって気持ちいい〜」



## 富士見保育園

### ●秋の製作●

1歳児クラスでは、秋にちなんで、絵の具を使い梨の製作をしました。絵の具を指につけてペタペタ：お友達が楽しんでいるところを見ると、みんな「私もー!」と集まってきていました。そんな中、保育者が誘ってもその時はあまり興味を示さない子がいました。後日、担当保育者が誘ってみると、膝に座り様子をうかがっていたので、まず保育者が絵の具を指につけてやってみせると、表情がパッと変わり、最初は保育者と一緒に、そして途中からは自ら指に絵の具をつけ、思い思いに楽しんでくれました。保育者がその子にじっくりとかかわりながら取り組んだことで、無理なく楽しむことができたと感じています。



「ペタペタ楽しいな」



「保育室に広がった梨の木」

## こひつじ保育園

### ●よるのほいくえん会●

9月12日(土)に夏のお泊まり保育の代わりとして、夕方から夜にかけて登園する「よるのほいくえん会」をすることにしました。特別に服装は好きな服を着ても良いということで、ドレスや浴衣、甚平などオシャレをして友だちと披露し合い、喜んでいました。サプライズイベントで赤いカップパたちのお祭りに参加。みんながお気に入りの絵本「おつきちゃんとかっぱ」の世界を訪れ、子どもたちはドキドキ、ワクワクを感じながら、お祭りを満喫しました。

外が暗くなり、友だちと足湯につかりながら、家族からの手紙を読んだひとときは愛情を感じる、温かな時間となりました。

職員も初めてのことです心配もありましたが、子どもたちの笑顔がたくさん見られ、いつも側にいらっしやる神様に感謝をしました。



「水風船取れたー!!」



「足湯気持ちいい〜」

# 法人本部からのご報告

## ◆理事会開催報告

令和2年度第2回理事会は開催せず、全7名の理事から書面による同意、及び全3名の監事から書面決議について異議のない旨確認を得て、提案事項として次の各議案すべて、令和2年8月11日付で承認されました。

- 議案第7号 児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業の申請について
- 議案第8号 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について
- 議案第9号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規則の一部改正について
- 議案第10号 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規則の一部改正について

- 議案第11号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について
- 議案第12号 社会福祉法人ベタニヤホームハラスメント防止規則の制定について
- 議案第13号 貸金庫の解約について
- 議案第14号 評議員選任・解任委員の選任について

## ◆令和2年度九州南部豪雨災害義援金の募集にご協力いただきありがとうございました

8月11日～25日の期間で、法人内各施設において九州南部豪雨災害義援金の募集を行い、多くの皆様から温かなご厚志をお寄せいただきました。

いただいたご厚志は、令和2年9月7日付で日本福音ルーテル教会九州教区「九州南部豪雨被災支援」あてにお贈りさせていただきました。ご協力をいただきました皆様に心よりお礼申し上げます。



母子生活支援施設	5,984 円
菊川保育園	25,941 円
富士見保育園	13,252 円
こひつじ保育園	12,635 円
法人本部	2,188 円
合計	60,000 円

## ご協力ありがとうございました

〈令和2年7月～令和2年9月まで〉(敬称略)

### ●ご寄附

- 〈母子生活支援施設〉アビック株式会社(花火・お菓子詰め合わせ)、株式会社叙々苑(焼肉)、墨田区老人クラブ江福クラブ(ぞうきん・タオル)、片岡(書籍)、花王株式会社(洗濯洗剤・ハンドソープ・台所用洗剤)、グランドハイアット東京(ナレビ8台)、株式会社サンゲツ(全館カーテン)、株式会社包む(ラッピング用品一式)
- 〈菊川保育園〉駒宮のり子(刺し子タペストリー・めだか)、卒園児保護者(紙)、宮尾(めだか)、社会福祉法人横須賀基督教社会館(マスク)
- 〈富士見保育園〉卒園児祖母(厄除け壁掛け)、匿名(消毒液)、卒園児保護者(雑巾など)
- 〈こひつじ保育園〉在園児保護者(紙)、在園児保護者(紙)、川並祥子(子ども用マスク)
- 〈法人本部〉綱 春子、日本福音ルーテル教会東教区女性会

### 編集後記



猛暑日だった夏から季節は変わり、肌寒い冬がやってきました。時が過ぎるのは早く、日々子どもたちの成長を見守りながら楽しく過ごしていますが、先日卒園児と会い、私自身とても嬉しく、また卒園児の子どもも「照れるな」と喜んでくれた姿に改めて「先生でよかったな」と感じる事ができました。

この気持ちを大切に、子どもたちにたくさんのお愛で保育していきたいと思いま